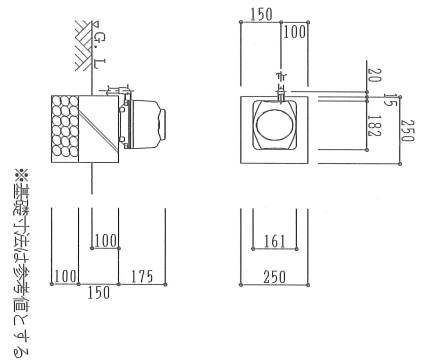
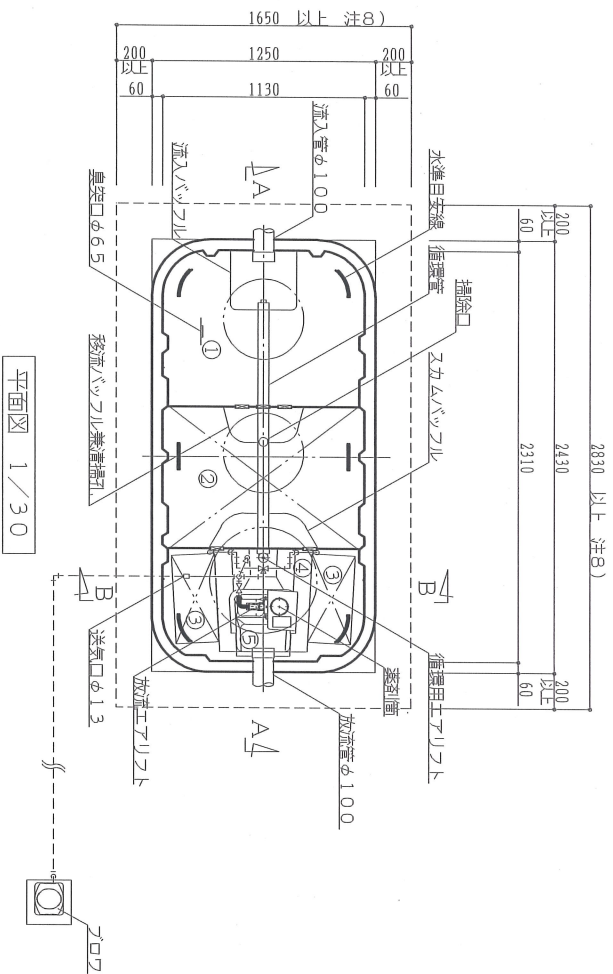
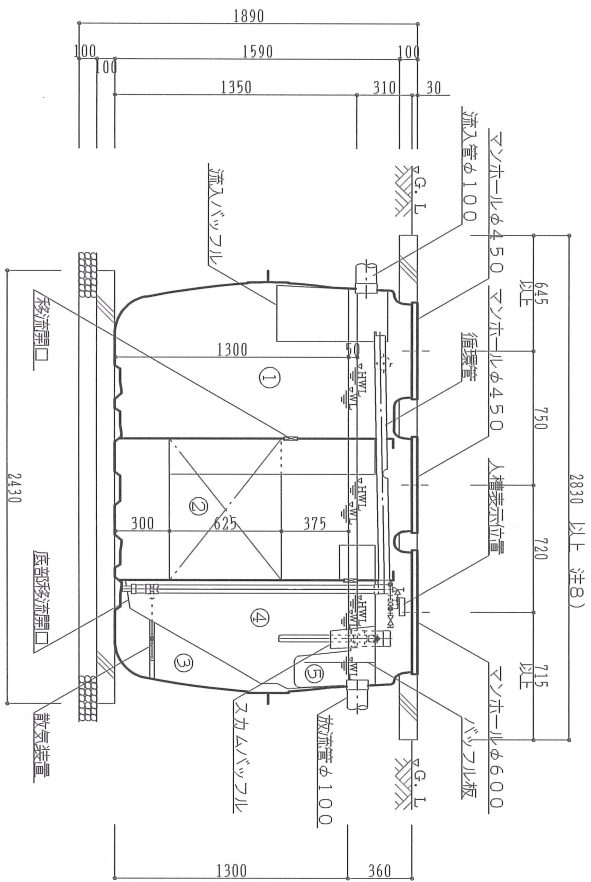


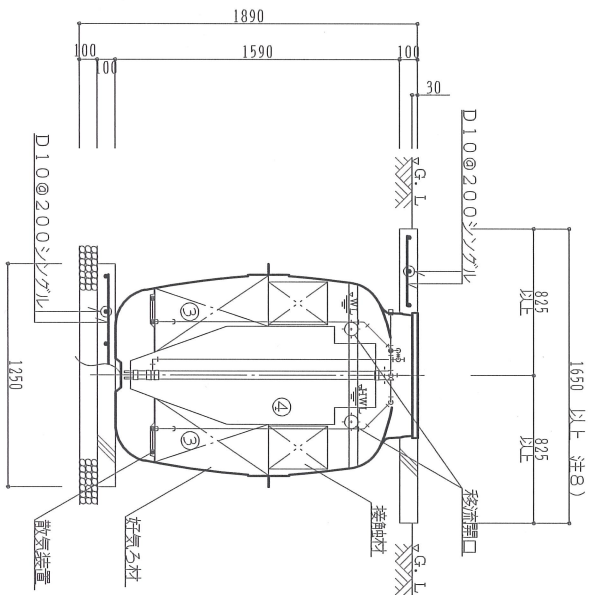
一 般 事 項			
コンクリート	鉄 筋	Fc=21N/mm2 SD295A	
定着及継手	開口補強筋	40d D13シングル	
地 業	砕石又はRC	40～0	



フロア基礎参考図 1／20



A－A断面図 1／30



B－B断面図 1／30

仕 様 表			
設計番号	CEN-5		
型式名称	フジリーフ CEN-5 型		
処理対象人員	5人		
汚水量	1.00m ³ /d		
流入水質	BOD200mg/L T-N 45mg/L SS 160mg/L		
放流水質	BOD 10mg/L T-N 10mg/L SS 10mg/L		
型式認定番号	5-12-H-002		
型式適合認定番号	型01Cada0054164		
① 汚物除去槽	有効容量	1.048	m ³
② 嫌気分解槽	有効容量	1.052	m ³
③ 接触濾床槽	有効容量	0.482	m ³
④ 処理水槽	有効容量	0.237	m ³
⑤ 消毒槽	有効容量	0.015	m ³
総容量	有効容量	2.834	m ³
機 器 装 置 仕 様			
嫌気菌材	PPまたはPE	充填率	46 %
接 触 材	PVC、PPまたはPE	充填率	16 %
好氧菌材	PPまたはPE	充填率	57 %
フロア	吐出量	口 径	運転方式
	60L/min	φ13	連続運転
槽本体	FRP		
バイア類	PVC、PPまたはPE		
マンホール	プラスチックまたは鋼鉄		
消毒剤	固形塩素剤		

露出配管（フロア廻り）		V/P
配管仕様	土中配管	φ40以下～V・P・φ50以上～V/U
槽内配管	メーカ仕様	

- 注1) 戸建て住宅のカーポート（車両総重量2t以下）用に限る。
- 注2) 浄化槽は駐車場の下に設置すること。
- （車が通過する場所は車両重量の他、走行による衝撃荷重がかかるので避けること）
- 注3) 車両等の重量に耐える地盤（長期耐荷耐力が40kN/㎡以上）に設置のこと。
- 注4) 最高地下水位1m以下の場所に設置すること。
- 注5) 積雪高さ1m以下の場所に設置すること。
- 注6) 浄化槽はマンホールが車両の中央になるように設置すること。
- 注7) スラフコンクリートが地盤沈下しないように良質土で水締めしながら埋戻しを行うこと。

- 注8) スラフコンクリートの寸法は土質に200mm以上かめる大きさとし、掘削する大きさに合わせて変更すること。
- 注9) スラフコンクリートには必ず開口補強筋を入れること。
- 注10) スラフコンクリートは駐車場土間コンクリートと一体で設置すること。
- 注11) スラフコンクリートの鉄筋は土間コンクリートの鉄筋は、必ずラップ（40d）すること。
- 注12) 機器電源は単相100Vとする。
- 注13) 図中の“G、L”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注14) 浄化槽からフロアまでの距離は5m以内とする。
- 注15) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注16) 臭気管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注17) フロア付近にアース付きコンセント×1を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
- 注18) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウエルポイント工事は別途とする。

施工高さ範囲				
項 目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
最浅法（この図面）	OH	G. L-310	G. L-360	1890H
最大法（嵩上げ付）	50H	G. L-370	G. L-420	1950H
最大寸法	300H	G. L-620	G. L-670	2200H

注 製品全高は、製品規格で+10mm、-20mmの公差があります。

流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

CEN-5（戸建住宅駐車場・支住レス）				
標準図				
名 称	設 計	検 図	図 番	縮 尺
設計年月日	2012.02.	野 毛	飯 野	CEN005NDF100
				1 / 30

フジリーフ工業株式会社